

水道事業評価(令和7年度)						担当課	上下水道総務課
1 事業情報							
目指すべき方向性	強靱	基本政策	3 災害対策の推進	施 策	3-1 震災対策の強化	事 業	3-1-3 災害用資機材の整備

2 事業評価の概要

項目	内容							
基本政策	地震や風水害といった自然災害などにおいて、非常時への備えを強化し、また、一日でも早い安定した日常生活の回復のために、社会基盤を支える企業としての役割を果たします。							
事業目的	災害時に効率的かつ効果的な応急給水、災害復旧作業が行えるよう資機材等の整備を進めます。							
取組内容、数値目標及びスケジュール（単年度）	・事業3-1-2「応急給水・復旧体制の整備」と合わせ、より効果的な災害用資機材等の研究を行い、局内での情報共有を行います。 ・各浄配水場の災害用資機材を点検し、災害用資機材管理台帳の更新を行います。また、発電機の保守点検を行います。 ・指定給水所への配水、備蓄ボトル水を補うものとして、家庭でのボトル水備蓄の啓発を行います。 ・給水袋3,000枚の備蓄を行います。 ・ボトル水を製造し、各指定給水所等に配備を行います。							
期間	令和7年4月 ～ 令和8年3月							
予算額 決算額		予算額			決算額			執行率
	単位:千円	総事業費	収益的支出	資本的支出	総事業費	収益的支出	資本的支出	単位: %
	事業費計	10,431	10,431	0	9,242	9,242	0	89%
	工事費	0			0			
	原材料費	0			0			
	委託料	0			0			
	賃借料	0			0			
	その他	10,431	10,431		9,242	9,242		89%
	人件費	5,893			5,893			100%

3 中間評価(事業の進捗状況)

執行状況	上半期執行額	7,812千円	事業進捗度	B 予定どおりの進捗
	上半期執行率	75%		
進捗状況	・ボトル水の製造を行い、効率的な配備が行えるよう計画を策定中です。			

4 終了時評価(事業の達成状況)

達成状況	・応急給水訓練を実施し、災害用資機材の運用を確認しました。 ・災害時に防災用資機材等が正常に機能するよう、発電機の保守点検を実施しました。 ・給水袋3,000枚の備蓄を行いました。 ・災害用備蓄ボトル水を製造し、指定給水所への配備を実施しました。
------	--

5 水道事業ガイドライン業務指標(PI)・独自指標

水道事業ガイドライン業務指標(PI)・独自指標					R7	R8	R9	R10
指標名		単位		目標値				
算出式・根拠					実績値			
指標名		単位		目標値				
算出式・根拠					実績値			
指標名		単位		目標値				
算出式・根拠					実績値			

6 視点評価及び総合評価

視点	評価項目	視点評価	視点	評価項目	視点評価
有効性	指標や目標値の達成度	B	説明責任	意見や苦情に対する適切な対応	B
	目的に対する実施内容	A		情報発信の実施	B
効率性	業務のプロセス改善(創意工夫)	B	組織学習	職員の知識向上のための取組み	B
	投入した費用・労力に対する成果	B		知識の伝達	B
評価理由(特記事項)					総合評価
・資機材の状況把握が不十分であるため、管理情報(数、場所、状態)を整理することで、改善を見込みます。					B

7 今後の実施方針等

事業を実施する上での課題及び改善方針	今後の実施方針
・現在の資機材の管理情報(数、場所、状態)を常に把握し、局内の職員に共有を行い、災害に備えます。 ・局職員が必要とする資機材や物資を把握し、配備します。	現状維持で継続